

## 『ご縁学』

method of 【Goen】

~ Humanity Connections ~

## 【概要】

この本は、人と人の中にある目に見えない真っ直ぐな糸と糸で繋がる「ご縁」を題材としてそれが繋がるまでの道のご案内しております。そして『ご縁学』という硬いイメージに聞こえるかもしれませんが、ここではより簡単に分かり易いご案内をしていきたいと思っております。

まずは、絹のような白い糸のつながり、次につやのある緑の糸のつながり、そして安定した赤い糸でのつながりにおいて人と人は、実は結ばれます。

しかし、スピード優先の現代社会では、この綺麗な一度結ばれた糸たちが切れそうになってしまったり、糸に気が付かないままに日常生活に追われ、過ごしてしまう現状があります。まずはこの「ご縁の糸たち」を知って頂くことで切れそうな糸、気付かなかった糸たちを結ぶことが可能になります。この本を通じて、沢山の若者から熟年の方々に早い段階で「ご縁の糸たち」に気がついて頂き、一日でも早く『ご縁』を結ぶことを願うばかりでございます。

## 【読者ターゲット】

- ①10代～無制限の男女
- ②家族関係に悩む人
- ③新しい友人、恋人と会いたい人
- ④赤い糸で繋がる片割れに逢いたいののに自信が持てない人



## 【構成案】

## 「第一章」『出逢う』 ~Timing~

[人間関係] の法則 (図1)

- I. はじめての出逢い
- II. 心配事が増える
- III. 新しい出逢いの準備へ

## 「第二章」『目が合う』 ~Happening~

[人間行動] の法則 (図2)

- I. 惹かれる相手の見えないエネルギー (糸)
- II. 相手との距離を近づく不安
- III. いよいよ会話の始まり

## 「第三章」『会いたい』 ~Feeling~

[恋愛] の法則 (図3)

- I. 相手のことばかりを考える
- II. 離れている辛さを感じる
- III. 相手と結ばれる未来がじわじわと見えてくる

## お問い合わせ先

電話番号: +971585857739

メール: merci.bisou@gmail.com

提出者: ギリモ田中 早奈枝

お気軽にご連絡ください!



## 「第一章」 出逢う～タイミング～

この地球上に人類が誕生し、この日本列島に上陸してから何万年というとても長く長い時間の中で、今日というこの日、今というこの時間、広い地球のこの場所で、波動のすべてのタイミングが揃い私達人と人は出逢います。

とても素敵な瞬間であります。

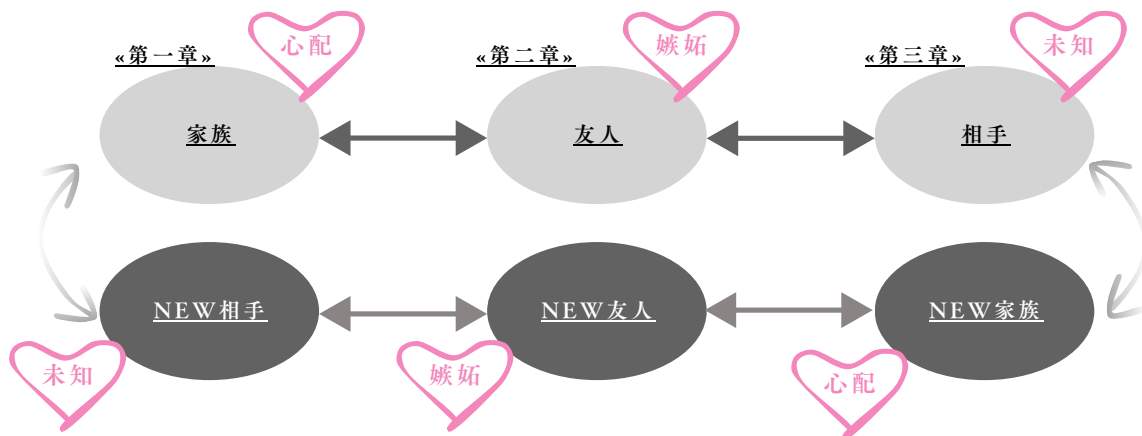
その中の真っ直ぐな糸で繋がりそうな運命の出逢いにあなたはいくつ気が付き、いくつくらい掴んでますでしょうか。この本では生まれてから成人し大人になるまでの『ご縁』を通じて、身近なところから、将来を共にするお相手に気付き出逢う道のりについてご紹介していきます。

この「第一章」『出逢う』～タイミング～ではあなたが一番初めの出逢い、「家族」をテーマにこの出逢いについてお話ししていきます。

ここで『人間関係の法則』について図1を使用しながら説明していきます。

### 『人間関係の法則』（図1）

ここでの時間軸として、  
あなたが生まれた時の家族は「家族」  
あなたが大人になってできた時の家族は「new家族」



「第一章」『出逢う』では「家族」をテーマになぜ白い糸は結ばれるのか

「第二章」『目が合う』では「友人」をテーマになぜ緑の糸は結ばれるのか

「第三章」『会いたい』では「相手」をテーマになぜ赤い糸は結ばれるのか

※そしてこの図で分かる様に、私達は二度のご縁サイクルの機会に恵まれております。

## I. はじめての出逢い

まず、図1でもわかるように人間は母親と父親の間から生まれ、兄弟姉妹の違いはありますがここで一番初めの家族に出逢います。家族とはあなたが生まれて、当たり前のようにいる存在ですがこれが実は「はじめの出逢い」で「はじめのご縁」なのです。この一番はじめの家族、両親、兄弟姉妹に出逢い生活をともにしていきます。何かの理由で生みの両親、兄弟姉妹と離れて暮らす場合は、育ての両親、兄弟姉妹がこの家族です。

このはじめの学び屋（家庭）で幼児期から大人になるまでに沢山のことを目にして、耳にして、口にして学びます。年代の違い、性別の違いがありますが食べ物、文化、教育は似ているのではないのでしょうか。両親に似ている外見、両親に似ていない外見、両親に似ている性格、両親に似ていない性格、同じ食物、服、おもちゃ、同じ家、部屋を共有する兄弟姉妹。そして家族との出逢いは、一見選択肢がないように見えますが、人間に生まれる準備の整ったあなたの魂と、子供に恵まれることを望んだ両親の魂の白い糸が上手く繋がりとくさんの試練を越え生まれて来ました。所謂、片思いの絆でなく、「両思いの絆」が生まれたのです。この家族から、このご縁から学ぶために生まれて来ました。だから、極端にいますと、良い面は受継ぎ、違う面は反面教師として学んでおきます。そしてその学びを箇条書きリストとしてはっきりと書いておくと、その後の人生が楽になるかもしれないですね。ここで両親や親戚を含めた先輩方々に「運命の糸の結び方」を聞くのも絶対に忘れてください。つまり、相手に会おうまで、出会ってから、出会って貴方が生まれるまで、あなたが生まれて育つ間の道のりをよく聞いてみると必ず参考になるので試してみてください。

テレビドラマで見る様な、驚きのストーリーかもしれないですし、映画で見る様なロマンチックで素敵な出逢いかもしれないですね。どちらにしろ、人生を変える様な出逢いであったに違いありません。

## II. 心配事の増加

そして家族の生活も落ち着き、子供も大きくなって来た頃。

「家族なのに」とか「なんでこんなこともわからないの」と家族のなかでも心配事や不安事が増えてくる時期があります。

なぜでしょうか。

家族だから、一緒に住んでるのだから、皆が同じ様でなければならぬと思っけていませんか。実は似ているようでほとんど似ていない家族の仲間がひとつ屋根の下で長い年月、一緒に暮らすので、意見が合わなかったり、けんかをしたりするのは、当然のことです。ただ、この時大事なものは家族だから、一緒に住んでるから皆が同じ意見ではなければならぬという思考を一旦捨てることです。一人一人、人間は異なる考え、感情をもっているということを知ることです。この様なことを学びたくて、家族との出逢いがあるからです。

これが解ってくると、両親が子供に対して湧いてくる不安感情。子供が両親に対して湧いてくる不満感情が少しずつ解消してくるのではないのでしょうか。みんな異なるだけです。大自然と同じように人間は唯一無二の存在であります。もちろん、小人はこの大人から沢山の事を学ぶためにその家族のもとへ来ました。良い面は受け継ぎ、違う面は反面教師としてよく学んでおきます。人間は沢山の事を学び、自分と違う人々を理解することで人間としての許容範囲が広がり始めます。許容範囲が広がるということは、あなたの人間としてのスケールも同時に広がります。

「十人十色」「三人よれば文殊の知恵」といったことわざにもあるように、お互いの考え方を理解し合える関係を送りましょう。

またこの許容範囲を広く広げることでお互いの違いから始まる心配事、喧嘩、そして争い、戦争がきっと減少していきます。逆に違うからこそ、多くの学びのある面白さに気づいていくと、自分という軸が見えるのがはっきりとしてきます。

### Ⅲ. 新しい出会いの準備へ

さて、同じ屋根の下で住む家族でさえ、同じ血が通う親戚ですら一人一人、人間は異なる外見、性格、考え方を持ち合わせていることの理解ができて来ましたでしょうか。それでも、多少なりとも似ているところがしばしばあるのが家族関係なので信頼や絆は、ちゃんとご縁の糸で繋がっているはずです。

そしてこの家族とのご縁は、絹のような白い糸で純粋なつながりや信頼の象徴と解釈できるかもしれません。その分、繊細さも兼ね備えているので、伝える時にはより丁寧に話すことをおすすめいたします。

親子や兄弟間でも、敬語や感謝の言葉を使うことが良い関係を保つ鍵になる場合があります。

「親しき中にも礼儀あり」って言葉通り家族でもちゃんと『ありがとう』って言い合える関係を送らしましょう。

家族でも一人一人、異なる。日本人でも一人一人、異なる。友人でも一人一人、異なる。

全ての場所、事情において人間は一人一人、異なると言う事をみんなが知り、理解すると家庭や学校、職場の人間関係がもっと平和になることでしょう。そしてここで新しい出会いに備えて準備しておくことは、今のあなた自身をよく知っておくということです。あなたはどこで生まれて、両親の性格の好きのところ、苦手なところ、兄弟姉妹の行動の真似したいところ真似したくないところ、何人兄弟姉妹の何番目、好きな食べ物苦手な食べ物、好きな遊び苦手な遊び、好きな場所苦手な場所などこの機会に自分に問いかけてみて下さい。

そして最後にこの「運命の白い糸」、この運命の糸が繋がる瞬間は、互いの心が純粋な愛情や信頼で響き合ったとき、あるいは強い絆が生まれたときにお互いの努力や歩み寄りにより結ばれていきます。

どうか家族関係で悩んでいる方、もう一度思い出して見てください。あなたというかけがえのない命が生まれて来た時、一瞬でも純粋な愛情や信頼が響き合ったこと。そしてあなたも必ずこの純粋な愛情や信頼が響き合う家族、友人、相手に出会うことができます。ただ一瞬の出来事かもしれないので、普段から大切な人との時間、行動を合わせれる様にしておく「タイミング」を合わせれることが、「タイミング」を掴むコツかもしれません。

## 「第二章」 目が合う～ハプニング～

「第一章」では 親子という年代&性別を超えた人間関係、家族が私達のはじめての出逢いであるにも関わらず似ているようで似ていない年代も違えば性別も違う協力者たちとどう上手くお付き合いして、このご縁の糸を上手く結んでおくかについて語っております。

特に『NEW家族』ができてくると『家族』とどう上手く繋がり結んでおくかなどバランス調整がとて重要になってきます。

さて、この「第二章」 目が合う～ハプニング～では次のステップである家庭の外で出会う友人をテーマとして年代は近いが同性であったり別性であったり、全然違う家庭、環境で育った仲間と同じ学び舎で、どう上手くお付き合いしていくか、またその為に自身の心、体、魂の在り方を日々整える方法など具体的にご説明していきたいと思います。

「アイ・コンタクト」という一番大切なことについてもお話ししていきましょう。

[以上となります。宜しくお願い致します]